

答申書案に対する意見

〔白抜き部分は起草委員会で
主に議論いただきたい内容〕

頁	該当箇所	意見内容	対応
3 ・ 8 ・ 9 ・ 18 ・ 20	第1章 大きな時代背景と社会環境の変化 3 意識・価値観の変化 4 地方自治のあり方の変化 第1部 3 今後の取組について 第1章 大きな時代背景と社会環境の変化 3 意識・価値観の変化 4 地方自治のあり方の変化 第6章 求める都市像 1 将来の都市像 2 分野別目標	8頁 3行目「NPO、企業などの多様な団体」 4行目「個人、企業などの」 5行目「市民や企業、行政による」 9頁 11行目「市民や団体、事業者、高等教育機関など」 等々、表現に統一性が無いように思われる。 【事務局修正案】 用語統一「行政、市民、団体(=NPO・企業)、高等教育機関」 3頁 11行目「市民や団体、事業者、高等教育機関など」 「市民や団体、高等教育機関など」 8頁 3行目「NPO、企業などの多様な団体」 そのまま 4行目「個人、企業などの」 「市民や団体などの」 5行目「市民や企業、行政による」 「行政と市民や団体、高等教育機関などによる」 9頁 11行目「市民や団体、事業者、高等教育機関など」 「市民や団体、高等教育機関など」 18頁 3行目「市民や地域、企業、行政」 「市民や団体、高等教育機関など」 20頁 2行目「市民や団体、事業者、高等教育機関など」 「市民や団体、高等教育機関など」	修正
8	第1章 大きな時代背景と社会環境の変化 3 意識・価値観の変化	「健康意識の高まり」 3行目「健康予防」の表現は妥当か。 【事務局修正案】 「生活習慣の改善や早めの健康予防」 「生活習慣の改善による効果的な予防を推進すること」	修正
19 21	第6章 求める都市像 2 分野別目標 第7章 まちづくりのために 1 まちづくりの進め方	生活環境分野の目標と健康福祉分野の目標の書き出しを統一した方が良い。他の文言からすれば「市民一人ひとり」としたらどうか。	
21	第7章 まちづくりのために 1 まちづくりの進め方	「市民力」の目標 「人ぢからを付け」「人間力を高め」に修正しては。 今持つ力を更に高めというニュアンスで使用した方が良いのではないか。 「人ぢから」を使用するのであれば「人力(ひとぢから)」と、漢字表現にし、ルビをつけることでいかがか。	
23	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「環境」	「(4)成果目標」 以降も同じだが、基本構想中に具体的な成果目標を入れるかどうか。具体的な目標設定が必要ということであれば、これだけではないはず。 例えば、後から出てくる障害者就労に関する目標値をどうするのか等々、全ての項目に目標値が必要となってくる。 したがって、基本構想では、あるべき姿を提示し、実行計画の中で数値目標を入れた方が良いと思う。(全てに目標値を入れるとなると、審議の時間が足りない。)	
24	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「安心」	「(2)目指すべきまちの姿」 2項目「高齢者や障害者もが安心して暮らすことができ、若者が集う魅力的な中心市街地」の部分「中心市街地」「まち」に修正しては。 中心市街地のみを対象とせず、まち全体のイメージの方が良い。	
24	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「安心」	「(3)取組内容」中の「生活環境」 1項目：自転車と徒歩のみでよいか。車椅子、視覚障害者、トイレ問題等々、大きな問題を含んでいると思う。一方、2項目がこれを含んだものと解釈できるので、1項目は削除した方が良いのではないか。	
24	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「安心」	「(3)取組内容」中の「産業振興」 1項目「空き店舗等を活用した～」は「安心」キーワードと違和感がある。どちらかといえば、「環境」ではないか。	
25	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「安心」	「(4)成果指標」 成果目標を残すのであれば、 「「住みやすい」と思う市民の割合」の「指標の考え方」中 「子供から高齢者まで」「市民一人ひとりが」に修正しては。	
30	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「地域ブランド」	「(3)取組内容」中の「健康福祉」 「障害者雇用の先進都市」「障害者就労の先進都市」 「雇用」に限定せず、支援付就労(福祉的就労)も含んだもので進んでいるので、「就労」という文言が良いと思う。 【事務局修正案】 「障害者就労の先進都市を目指し、先進的取組を更に発展させます。」	修正